

個人投資家向け会社説明会

2020年10月24日



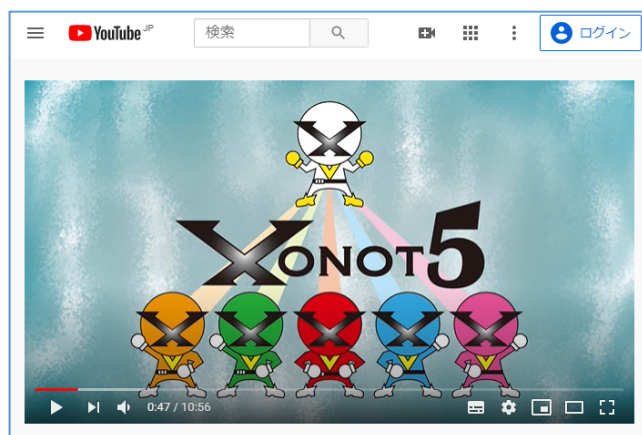
防災・省エネを通じて、産業・社会や地球環境に貢献する



目次

- 1. 当社グループの概要 P.3
- 2. 当社グループの強み P.16
- 3. 今後の方針 P.22
- 4. (参考) 業績推移 P.32

～会社紹介動画もぜひご覧ください～
<https://youtu.be/nLBraAnkct4>



「XONOT5」について

日本インシュレーションは、独自のXonotlite製造技術を活用して、都市防災や省エネルギーを通じ産業・社会に貢献しています。

私たちは、そのことをゾノトライトの戦士「XONOT5」で表現しています。



- Xonotlite (ゾノトライト)
- Fireproof (耐火)
- Ecology (環境・エコ)
- Reliable Quality (安全・品質)
- Energy Saving (省エネ)
- Diversity (ダイバーシティ)



当社グループの概要

会社概要



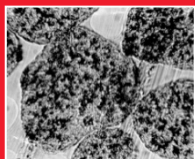
社名	日本インシュレーション株式会社 JAPAN INSULATION CO., LTD.
創業	1914（大正3）年4月8日
設立	1949（昭和24）年1月14日
代表者	代表取締役会長 大橋 健一 代表取締役社長 吉井 智彦
本社	大阪府大阪市中央区南船場一丁目18番17号
資本金	1,200百万円（2020年3月末現在）
連結業績	●売上高：14,195百万円 ●経常利益：2,024百万円（ともに、2020年3月期）
従業員数	●連結：371人 ●単体：305人（ともに、2020年3月末現在）
事業内容	ゾノライト系けい酸カルシウムを基材とした 各種の防耐火建材、保温材等の製造、販売及び設計・施工
グループ会社	海外連結子会社：1社（ジェイアイシーベトナム 有限会社）



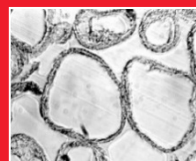
当社グループの歩み



高耐熱性のゾノライト系けい酸カルシウム材の
工業化に **世界で初めて成功**



建材用結晶の断面



保温材用結晶の断面

1930年
大阪新工場
(大阪市西成区)

1949年 **設立**
株式会社に改組

1960年
岐阜工場
(岐阜県)

1966年

戦前

戦後 (1945年～)

1927年
大阪工場
(大阪市西区に移転)

1914年 **創業**
個人事業「大阪パッキング製造所」設立
⇒1936年に合名会社に改組

2014年 **海外子会社**
ベトナムに100%子会社設立

1989年
北勢工場
(三重県)

1989年 **社名変更**
「日本インシュレーション株式会社」に改称

2016年
ベトナム工場
(ベトナム)

2014年【創業100周年】

＜ JICの世界初・日本初 ＞

- 1966年 ゾノライト製法開発 世界初
- 1968年 ゾノライト新製法が、けい酸カルシウム耐火被覆材の耐火構造認定の基礎となる
- 1976年 ゾノライト新製法が、けい酸カルシウム保温材のJIS規格の基礎となる
- 1994年 ISO9000シリーズ認証取得 国内建材メーカーで初
- 1996年 新JIS認証取得 建材試験センターの第1号認証取得
- 2008年 DBJ環境格付 中堅企業で国内初
- 2016年 もみ殻由来保温材「ダイパライト-E」実用化 世界初



日本インシュレーション

熱、電気、音、振動などの
絶縁材・絶縁行為の意味

社名に込めた意思

主に耐火・保温・断熱等、熱を対象とした絶縁材の製造
と絶縁工事を通じ、

省エネルギー化による地球環境の保全と、
建築物の防・耐火化による人命・財産の保護を通じ、
産業・建物の防災・強靱化に貢献する



建築関連事業

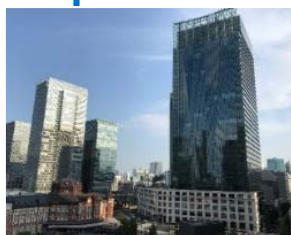
55億円 / 39.2%

セグメント利益※ 13億円 / 44.9%

- 耐火被覆材、内装仕上材等の販売・施工

主な用途市場

建築基準法に基づく防・耐火処置が必要とされる建築分野



- オフィスビル
- 商業施設（ショッピングモールなど）
- 物流施設
- 生産施設（工場など）
- 交通施設（空港や駅など）



プラント関連事業

86億円 / 60.8%

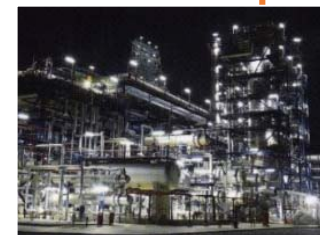
セグメント利益※ 16億円 / 55.1%

- 保温材等の販売・施工

主な用途市場

各種の熱機器を使用するプラント分野

- 火力及び原子力発電プラント
- 石油精製、石油化学プラント
- 製鉄プラント
- 鋳業、窯業プラント
- 繊維プラント
- 製紙プラント
- 製糖プラント
- 石油備蓄基地
- 環境プラント
- その他一般化学プラント



2020年3月期
連結売上高
141億円

※セグメント利益には調整額は含まない



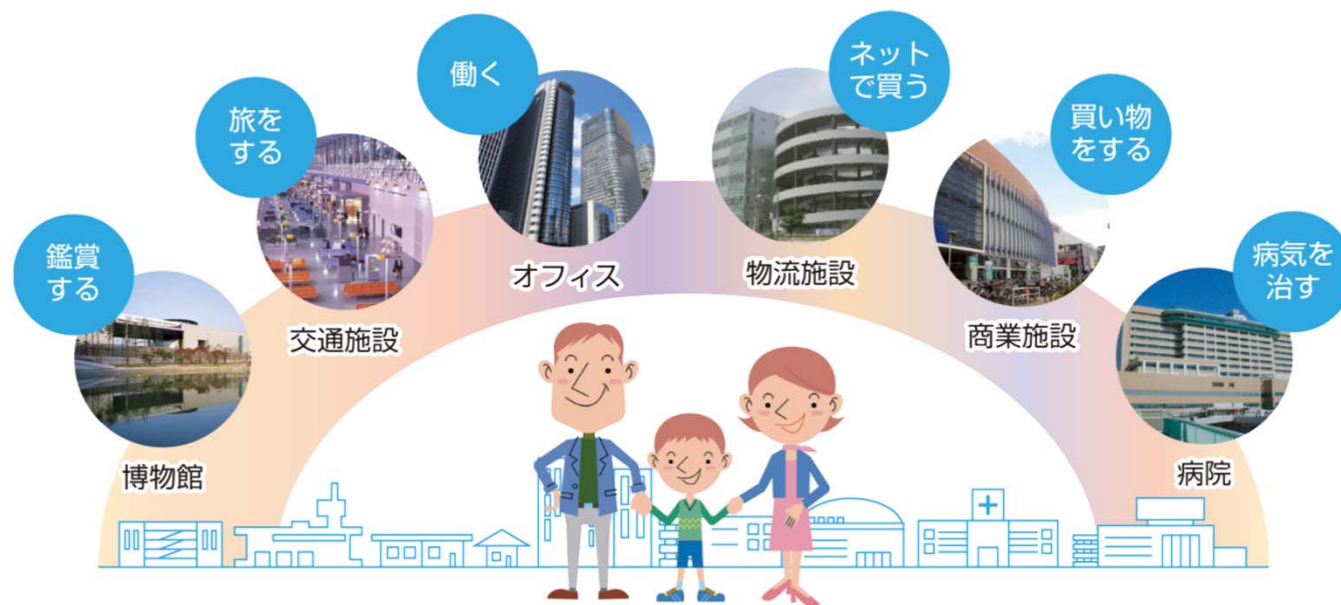
■ 建物の防災

* 耐火被覆材とは・・・

熱に弱い鉄骨のはり・柱、免震装置など、建物の構造部材を被覆

⇒ 火災時に、火炎や熱から護り、建物の倒壊を抑制する役割を担う

建築基準法に基づく耐火構造認定を取得した製品



JICは、高耐熱素材を使って、建物を火災から守る建材を製造し、その施工までを行っています



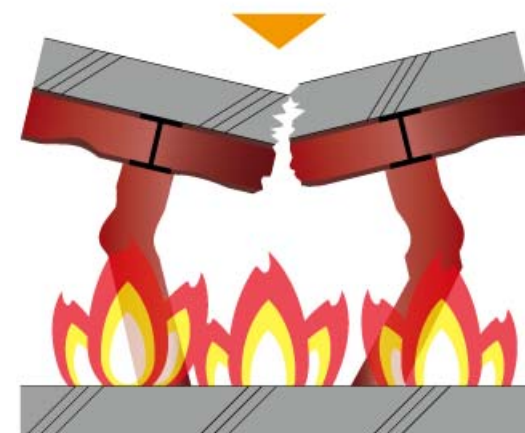
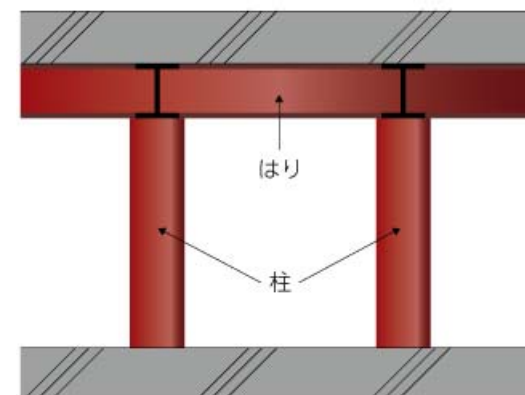
高層ビルや大きな空間が必要な物流施設には鉄骨が不可欠。
JICの耐火被覆材は、鉄骨造の建物を火災から守ります

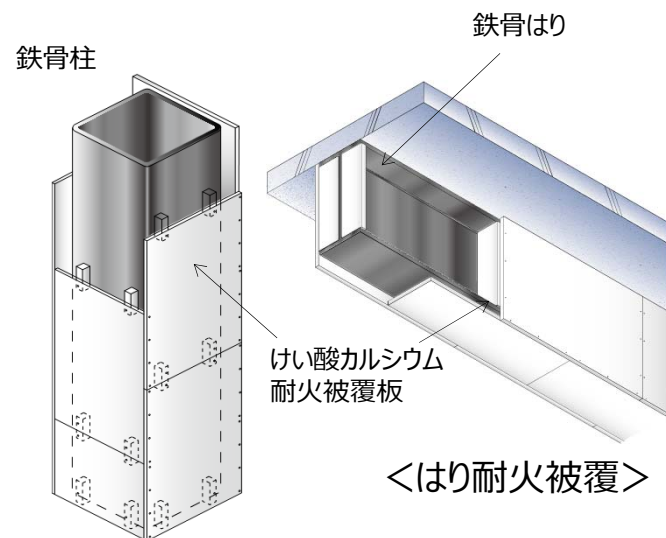


- 高層ビルや大型物流施設など、大きな空間が必要な構造物には、「鉄」が使われます。



- 鉄は400℃を超えると大きく強度が低下します。
1000℃を超える火災に遭うと、鉄骨造の建物は倒壊してしまいます。（右図はイメージです）
- 熱に弱い鉄骨の柱やはりを被覆して建物の倒壊を抑制する役割を担うのが耐火被覆材です。





＜柱型耐火被覆＞

けい酸カルシウム耐火被覆材の特徴

（他の耐火被覆材との比較）

- 乾式工法で工期短縮に貢献
- 工場成型品で品質が安定
- 仕上げ兼用で柱を細くできる
（＝有効床面積を大きく取れる）
- ボードなので見栄えが良い

はり柱の耐火被覆

タイカライト



柱の耐火被覆（オフィス）



柱・はりの耐火被覆（物流施設）



はりの耐火被覆（商業施設）



EVシャフト・ブレースの耐火被覆（複合ビル）



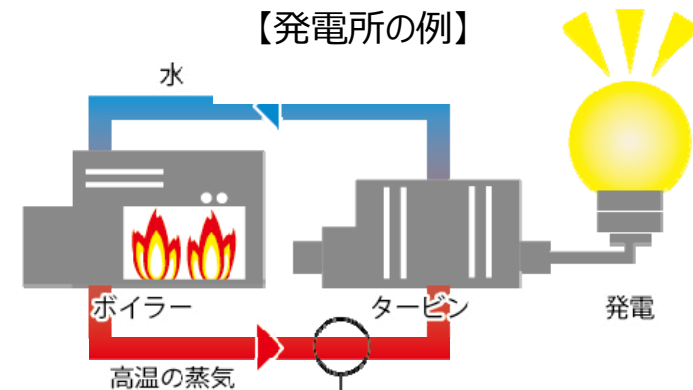
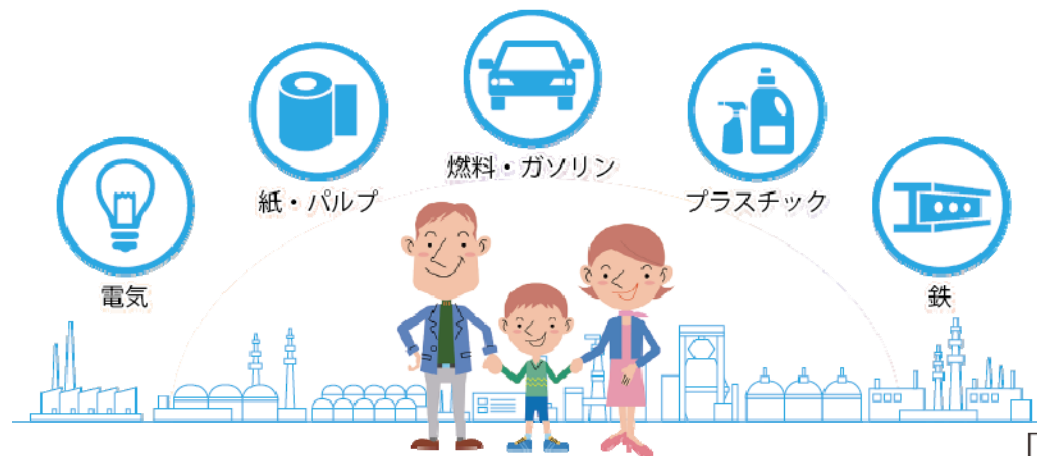
プラント関連事業の概要

■ 工場・設備の省エネルギー

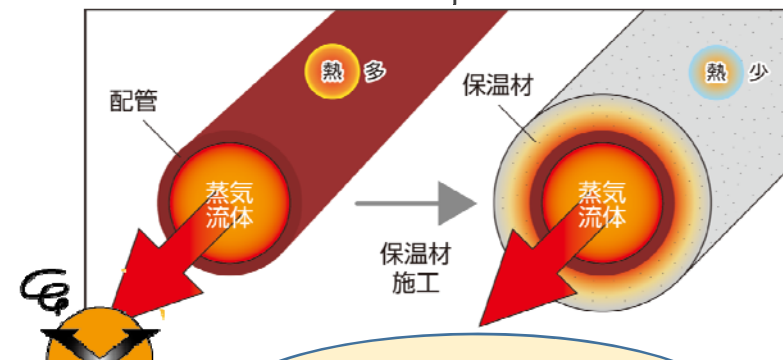
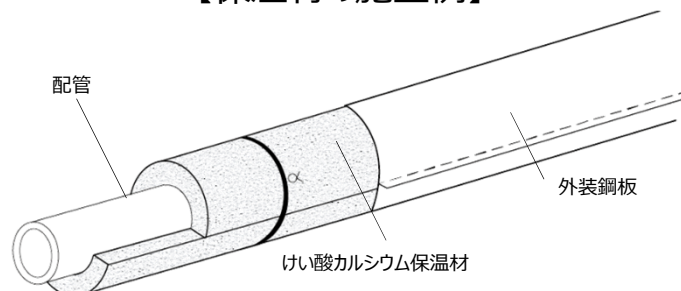
* 保温材とは・・・

工場の配管や機器を被覆して内部の熱を逃さないようにする製品

⇒ エネルギーのムダを防ぐ役割を担う



【保温材の施工例】



保温しないと、どんどん熱が逃げていくよ!!



プラント関連事業 ～主力製品の紹介～



発電所や製鉄所、化学工場などの高温の蒸気や流動体を通る配管や機器の保温にはどんなものがあるだろう？



ダイパライト

当社のけいカル保温材の特徴

- 軽量で高い断熱性
- 1,000℃と極めて高い耐熱性

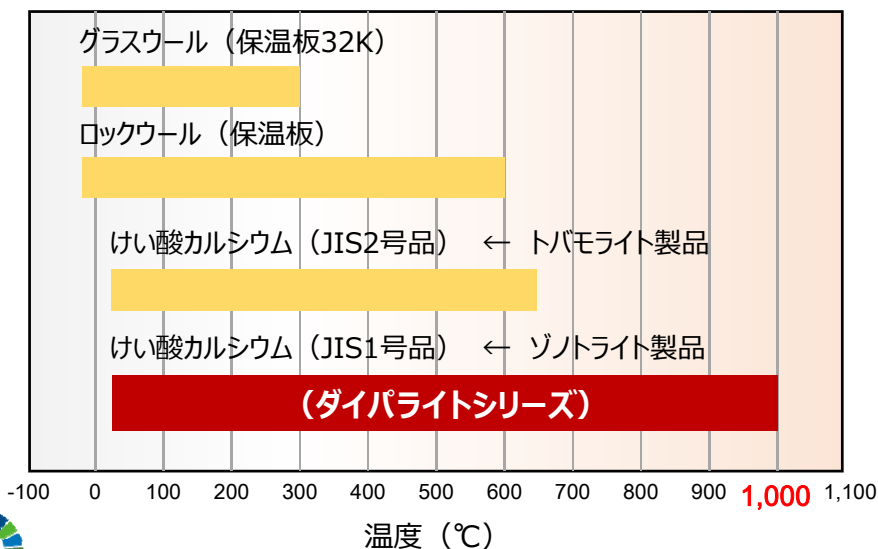


JICの保温・断熱材は1000℃の熱にも耐えられる「ゾノライト」でできているよ。だから、他の断熱材では適用できないところでも使われているんだ！

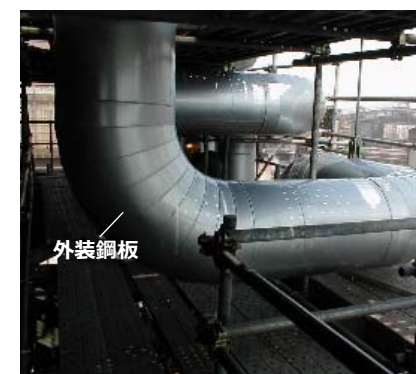
JICは、保温材の提供を通じて、工場の省エネルギーに貢献しているよ



【各種保温材の使用温度比較】



保温材取付け (施工中)

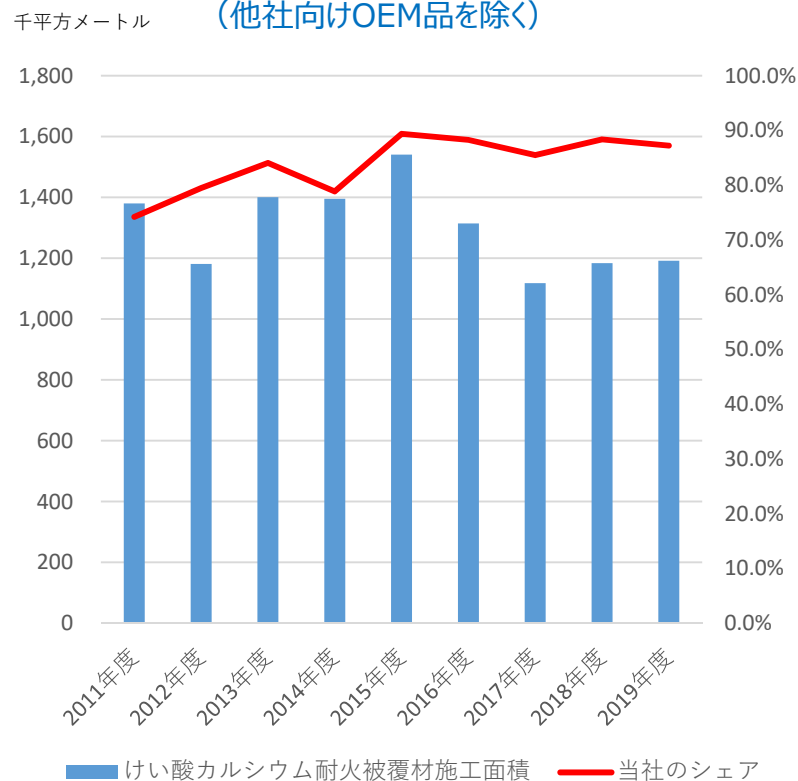


施工完了



- けい酸カルシウム耐火被覆材市場において、当社シェアは**80%台で推移**
- けい酸カルシウムは工程短縮、耐久性に優れており、**一定のシェアを維持し、安定した市場を確保**

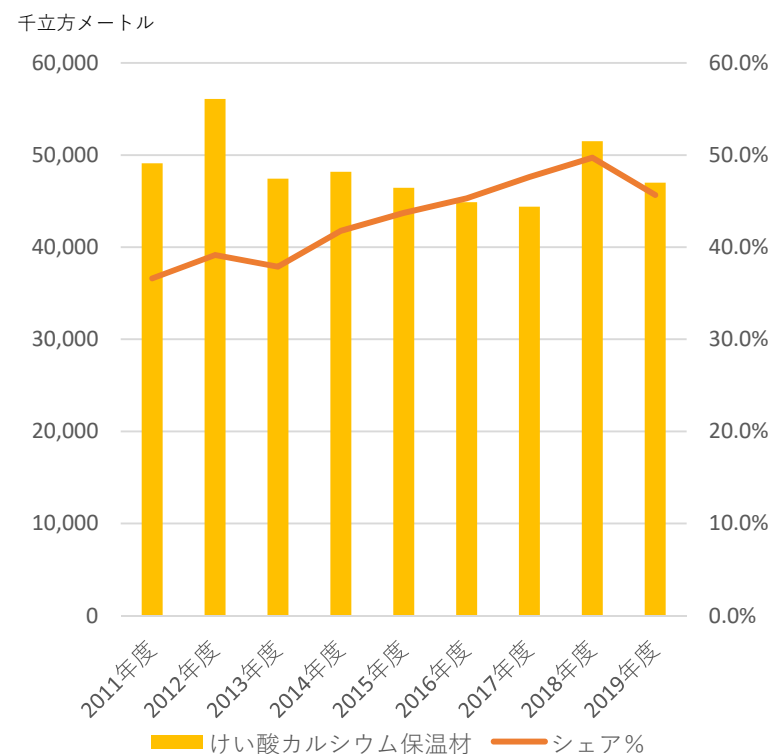
けい酸カルシウム耐火被覆材市場における当社シェア*
(他社向けOEM品を除く)



* 当社のシェアは、せんい強化セメント板協会統計から個別認定の施工面積を加味して当社で推計

- けい酸カルシウム保温材市場において、当社シェアは**約50%を確保**
- 工場プレカット、大型ボードにより生産効率の優位性によって、**一定のシェアを維持し、安定した市場を確保**

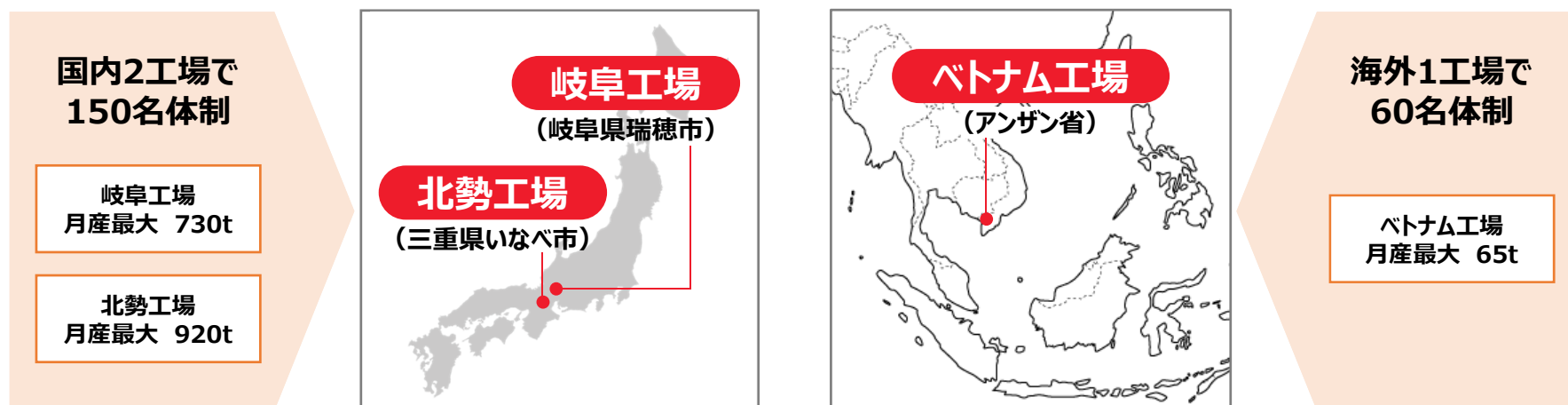
けい酸カルシウム保温材市場における当社シェアの推移*



* 当社のシェアは、けい酸カルシウム保温材協会の統計により当社で作成



国内最大の供給・アジア販路拡大のための工場体制



岐阜工場 ▶ 主に、**プラント市場向け製品**（保温材）を生産

北勢工場 ▶ 主に、**建築市場向け製品**（耐火被覆材、不燃意匠内装材等）を生産

ベトナム工場 ▶ 主に、**東南アジア・東アジアのプラント市場向け製品**（保温材）を生産



- 高層ビルなどの建築物が集中する都市部からプラント施設が集中している地域まで、営業拠点を全国展開

建築関連事業

- ・ 営業開発グループ
- ・ 関東支社
 - 営業グループ
 - 販売グループ
 - 東北営業所
- ・ 関西支社
 - 営業グループ
 - 販売グループ
- ・ 中部営業所
- ・ 九州営業所

商品PRルーム

プラント関連事業

- ・ プラント海外営業部
- ・ プラント営業開発部
- ・ プラント販売部
 - 東京販売グループ
 - 大阪販売グループ
 - 九州販売グループ
- ・ 東日本支社
 - 鹿島営業所
 - 京浜営業所
 - 新潟営業所
 - 苫小牧出張所
 - 福島出張所
 - 女川作業所
- ・ 京葉支社
 - 千葉営業所
- ・ 西日本支社
 - 三重営業所
 - 倉敷営業所
 - 大阪営業所



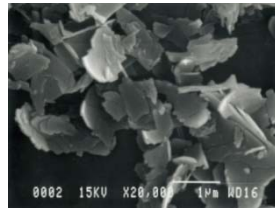
当社グループの強み

1 独自の**製造技術力**と、他分野展開に結びつく**研究開発**

2 自社工場製造と材工一貫による**高い収益性の実現**

3 長年にわたり育んできた**安定した顧客基盤**



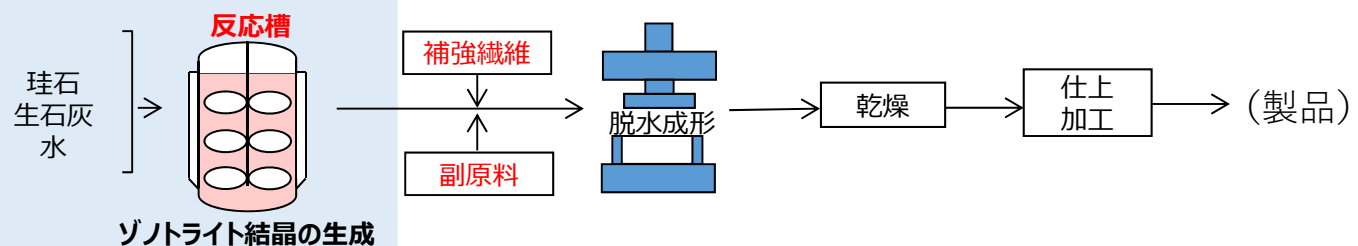


当社製法

ゾノライト系
けい酸カルシウム
製造方法

膨大なノウハウの蓄積が不可欠な製造技術を確立

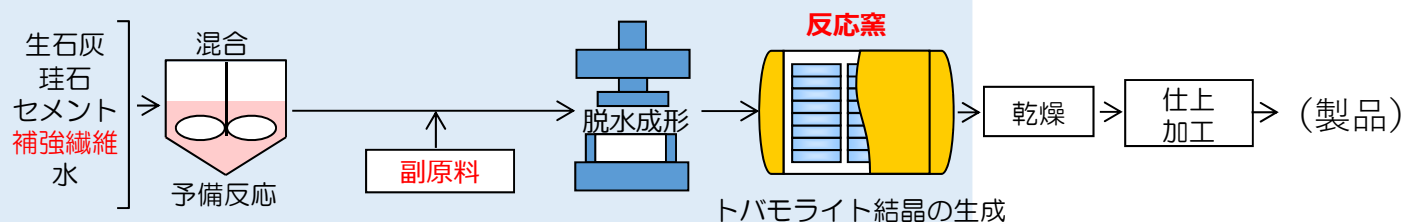
最初に素材を作りこむ



この製造技術が耐火被覆材・保温材の無石綿化の基礎となり、海外技術輸出へとつながった

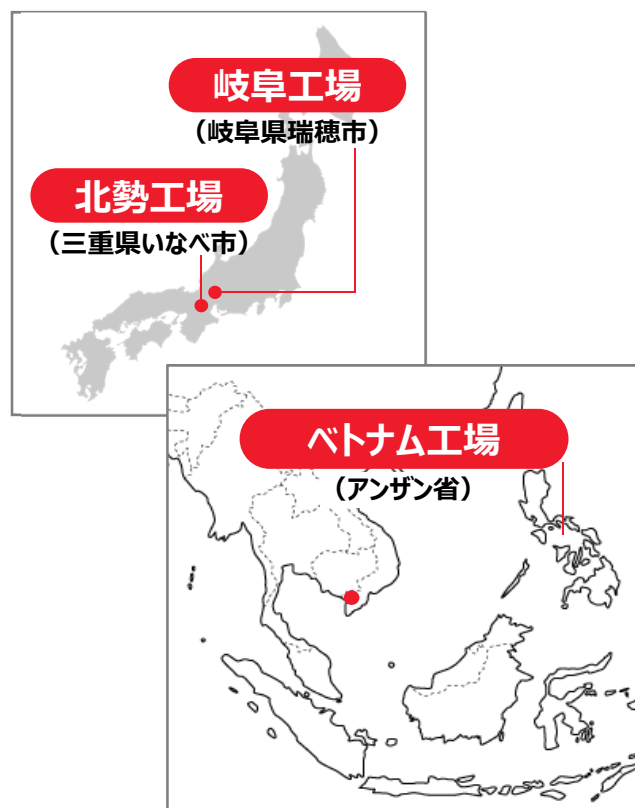
従来製法

トバモライト系
けい酸カルシウム
製造方法

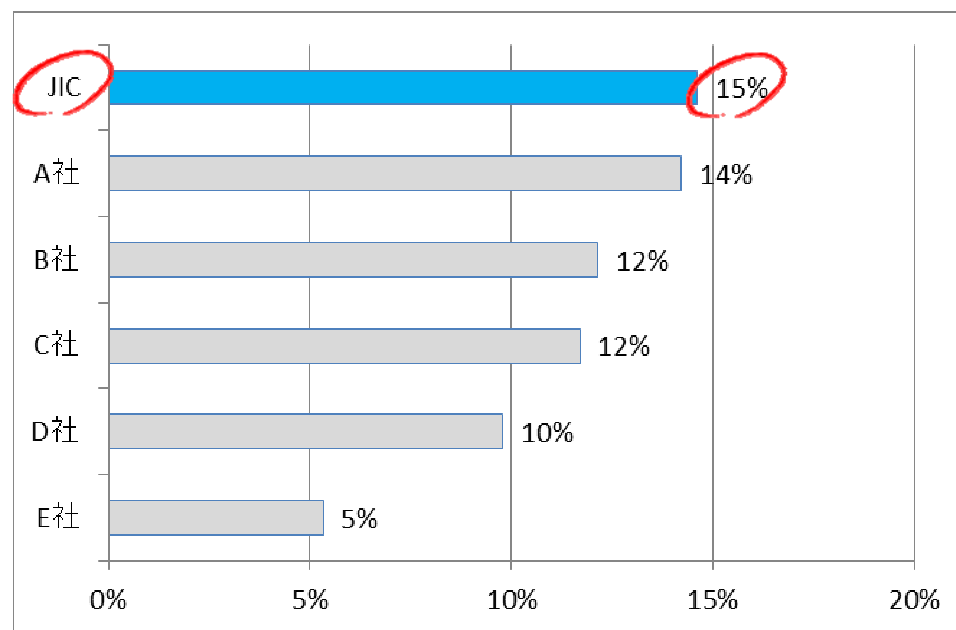


自社生産による製造原価低減で上場他社と比較しても 高い収益性を実現

国内外の生産拠点



競合上場企業との営業利益率の比較



※ 建築分野において耐火被覆材、プラント分野において保温材を製造・販売している企業を選定。
2020年3月期通期決算報告により当社作成。連結の数値を使用。

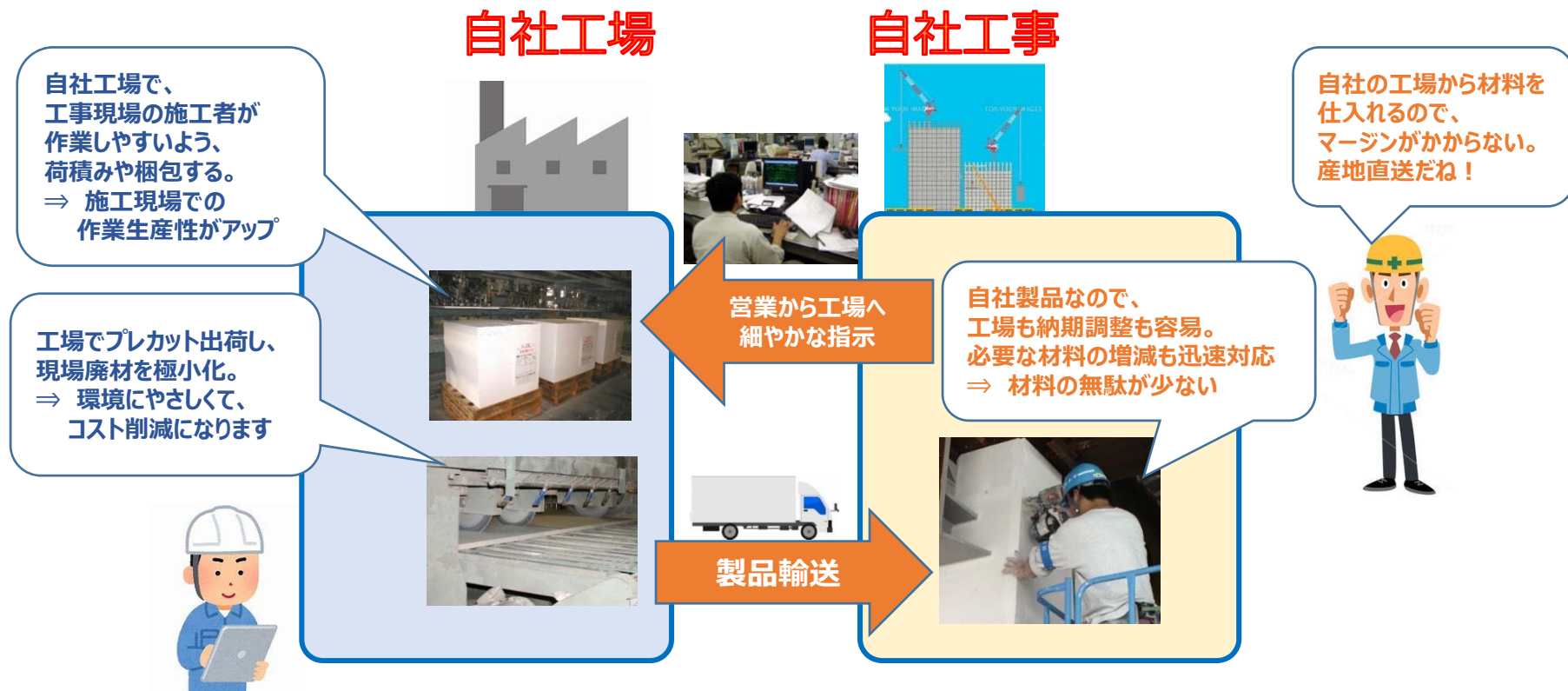


強み－高い収益性の実現

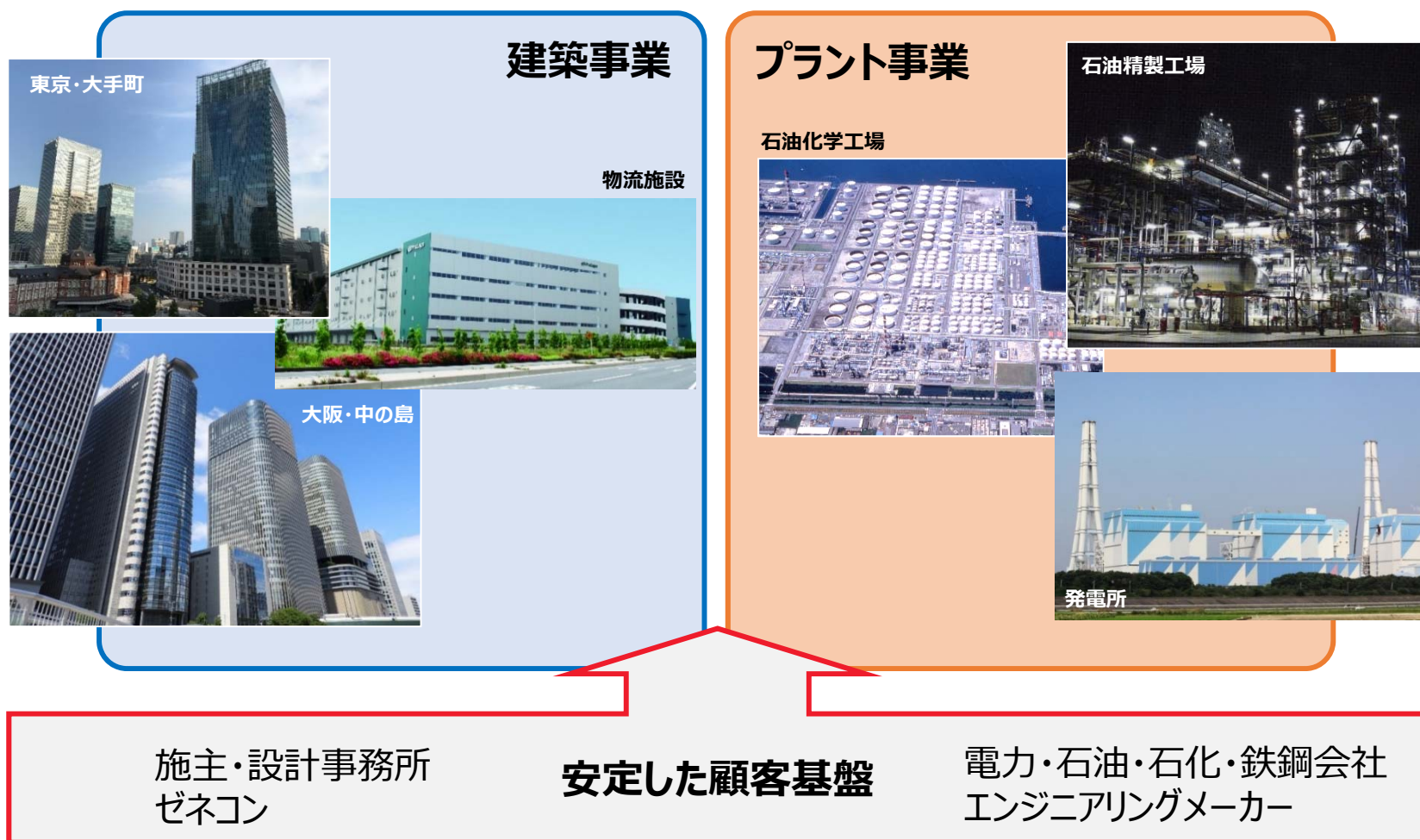
実施製造・出荷から施工に至る
プロセスを**自社一貫管理**



高い収益性と
品質管理を実現



長年にわたり育んできた**安定した顧客基盤**



今後の方針

今後のビジネス展開－建築関連事業



独自の製造工程の副原料を添加して新しい機能を付加して、機能材を開発して、お客様に新製品を提供しています

建築で

関連資材

ライニング材
調湿資材
住宅用断熱材

関連工事

石綿除去工事

建物の
防火材・耐火材
&
耐火被覆工事

幅広い生活分野で

機能材

CFRP型材
学校教材
サイン材
粉体

● 用途開発による新市場創出

■ 燃えない素材特性に機能添加

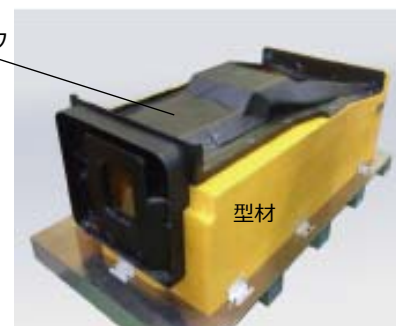
- ✓ けい酸カルシウム材に樹脂を混合して、加工性を増強した材料を、いろいろな用途に展開
- ✓ 精度よく加工でき、高耐熱性の材料

- ・不燃デザインパネル
- ・炭素繊維強化プラスチック用型材
- ・学校教材、版画材料
- ・サイン材料



不燃デザインパネル施工例
(展示施設)

炭素繊維強化プラスチック
(レーシングカー部品)



型材

炭素繊維強化プラスチック用型材
(レーシングカー部品の例)



今後のビジネス展開－建築関連事業



JICは、建物の耐火性能の向上要求に適用できる製品を開発し、提供しています



● 用途開発による新市場創出

■ 免震装置の耐火



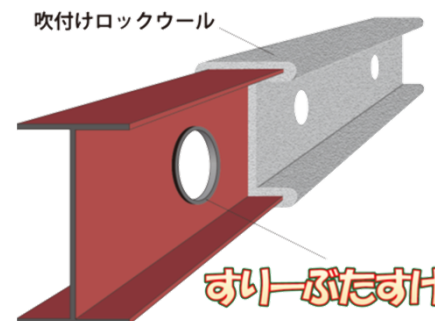
耐火パネル

免震装置用耐火被覆材

免震建物は地震に強いけど火には弱いからなあ...



■ はりの設備配管が貫通する部分の耐火



吹付けロックウール

はり貫通部耐火被覆材

■ 通信ケーブルが防火壁を貫通する部分の耐火

ケーブル延焼防止材



通信ケーブル

延焼防止材

ケーブルを通すために開けた穴を塞ぐんだ

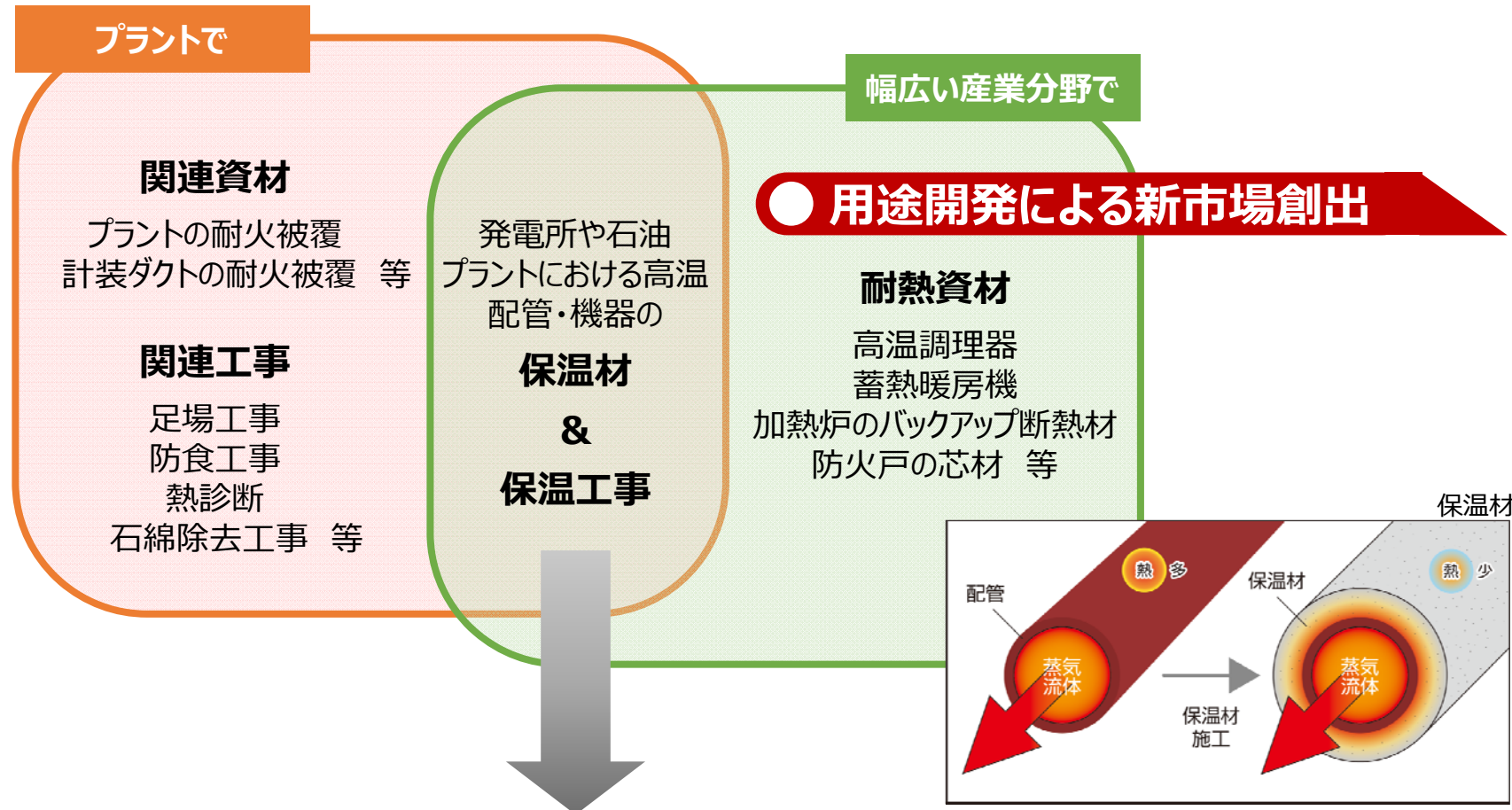


■ 煙突内側の断熱（煙突ライニング）



煙突ライニング材





● 保温材事業の関連事業開発（既存市場の拡大・深耕）

相対的にシェアの小さい「工事施工」分野の規模拡大を目指して…

■ 常駐現場の拡大

→ 安定的な売上が確保できる常駐現場の拡大を推進



● 保温材事業の関連事業開発（既存市場の拡大・深耕）

■ これまでの保温工事に関連する新たな工事種類の開拓

- ✓ プラント架台やケーブルダクトの耐火被覆
- ✓ 原子力発電所向けの金属保温材による工事
- ✓ 犠牲防食材（商品名：マグネラップ）を使った工事

プラントで使う保温材以外の
資材を販売したり、保温工事
と併せて関連工事も
行っています

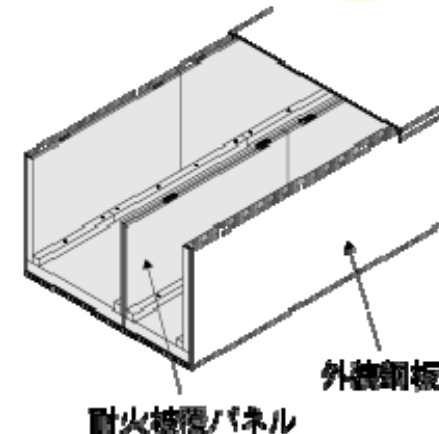


プラント架構の耐火被覆

- ・ プラントの耐火被覆
- ・ プラント計装ダクトの耐火被覆
- ・ 犠牲防食材
- ・ 原子力発電用金属保温材 等



- ・ 足場工事
- ・ 防食工事
- ・ 他の保温材を使用した保温工事
- ・ 熱診断 等



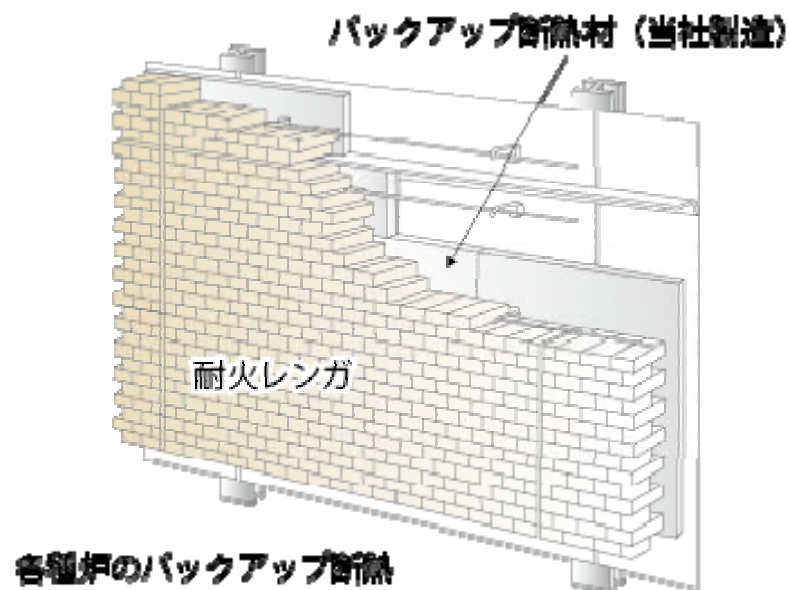
● 用途開発による新市場創出

■ 顧客ニーズを現場から収集し、ニーズに適した商品開発を推進

→ 今後は、燃料電池向け断熱材など高温になる用途で他の断熱材が適用できない用途での商品開発を積極化



高い**耐熱性**と**断熱性**を同時に要求される用途が得意です。熱のことならお任せください

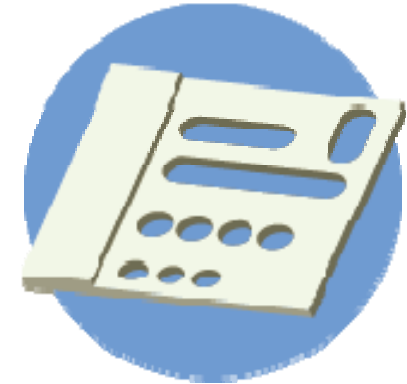


- 内部の配管や機器の形状にあわせた部材として工場加工して提供

オープンレンジ（イメージ）



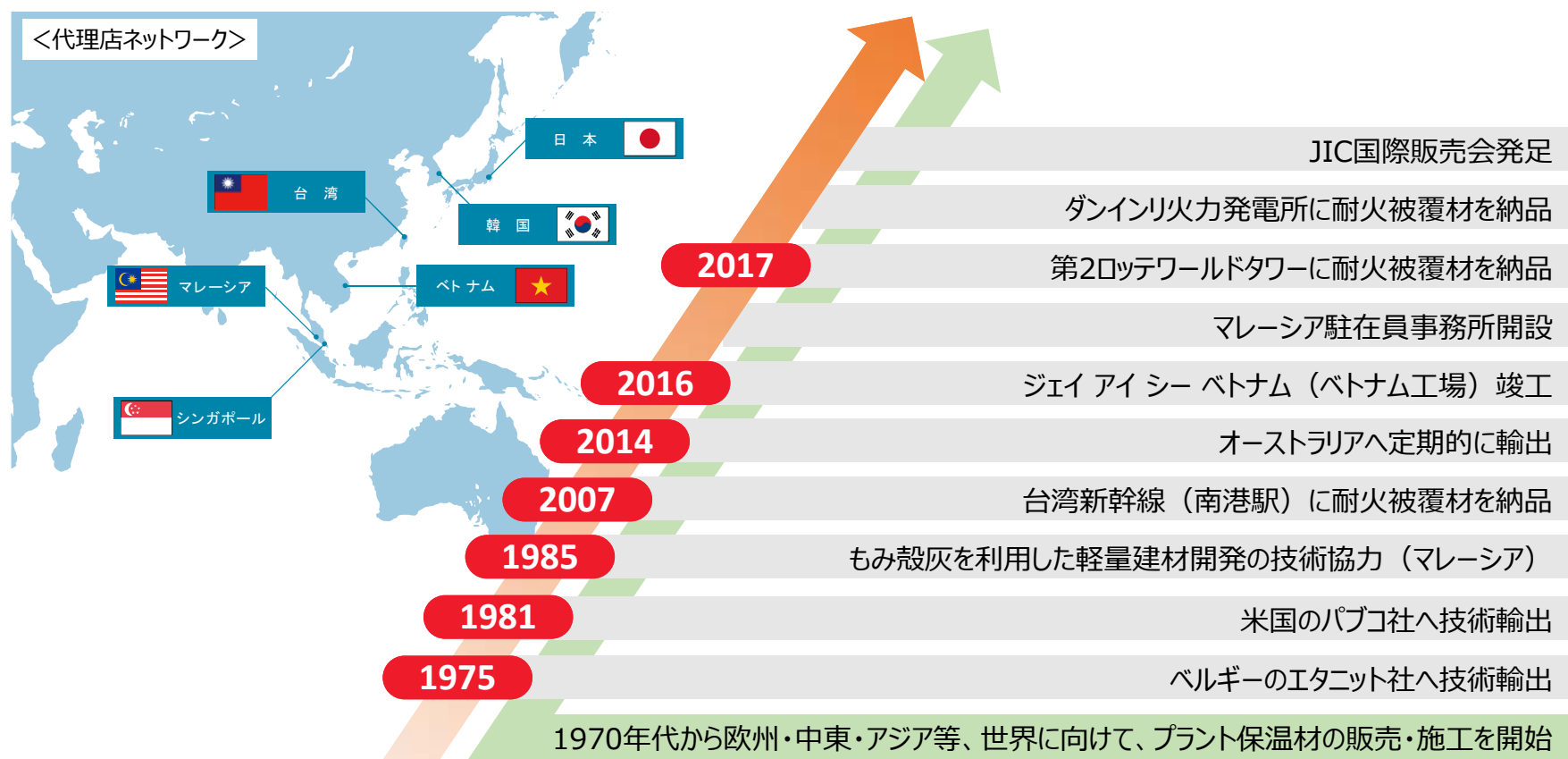
加工した保温材（イメージ）



- 内部が数百度の高温になる機器向けに耐熱性が求められる部材として提供



早期より海外への技術輸出を展開し、世界の産業界の発展に貢献 ベトナム工場を本格稼働し、さらに海外展開を進める方針

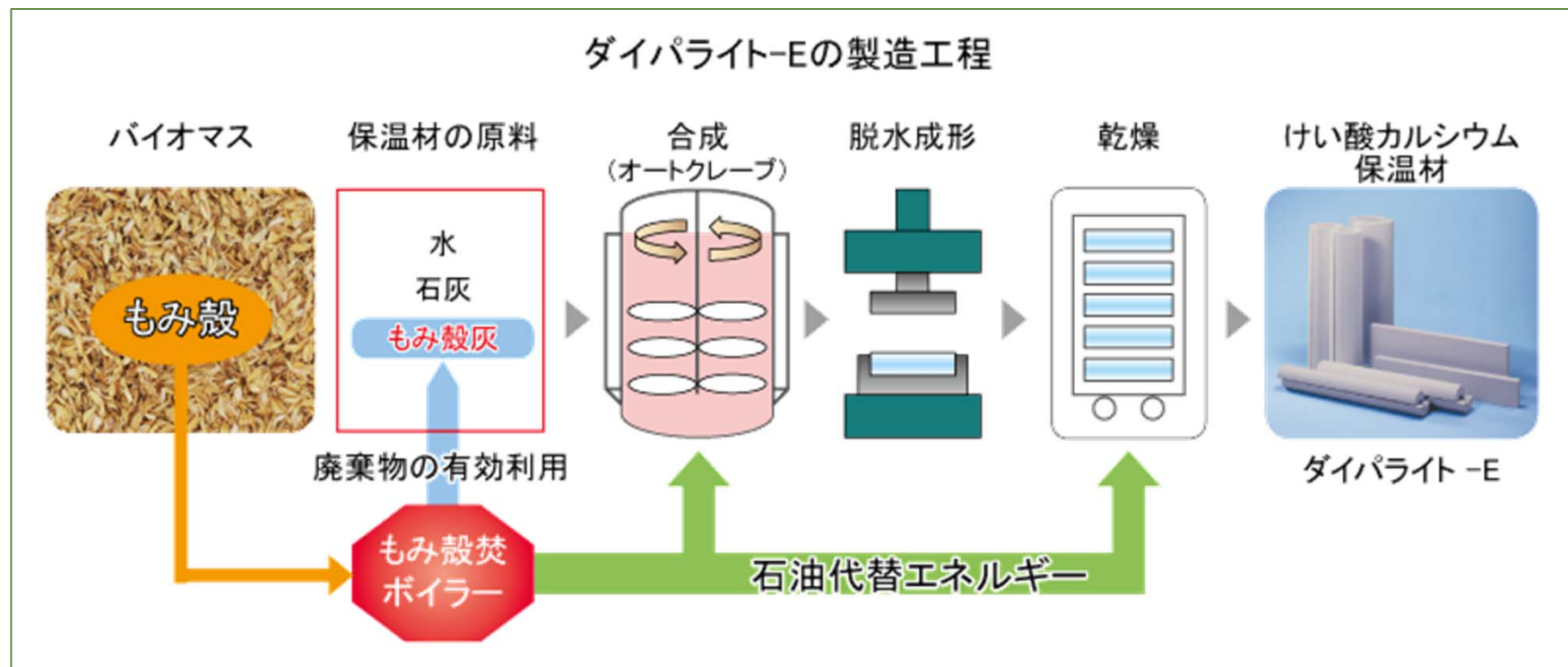


今後のビジネス展開－海外事業

東アジア・東南アジアで
環境配慮型製品として
ベトナム工場製保温材の拡販



- ✓ アンザン省人民委員会により環境配慮事業として認証
- ✓ 2018年にUNIDO（国連開発機構）東京事務所が運営する「環境技術データベース」に当社「ダイパライトーE」が登録



JIC 長期ビジョン

建築領域（国内）

安定顧客の維持拡大により
競争力のある建築物耐火事業
を構築する。

プラント領域（国内）

安定顧客の維持拡大により
競争力のあるプラント保温・
断熱事業を構築する。

目指す姿

100年企業として次の50年を見据えつつ、
産業・社会や地球環境への貢献を果たし、
社員が誇りと夢を持って働ける会社とする。

海外における事業基盤
を構築する。

海外領域

プラント・建築に次ぐ
第三の事業の柱を構築する。

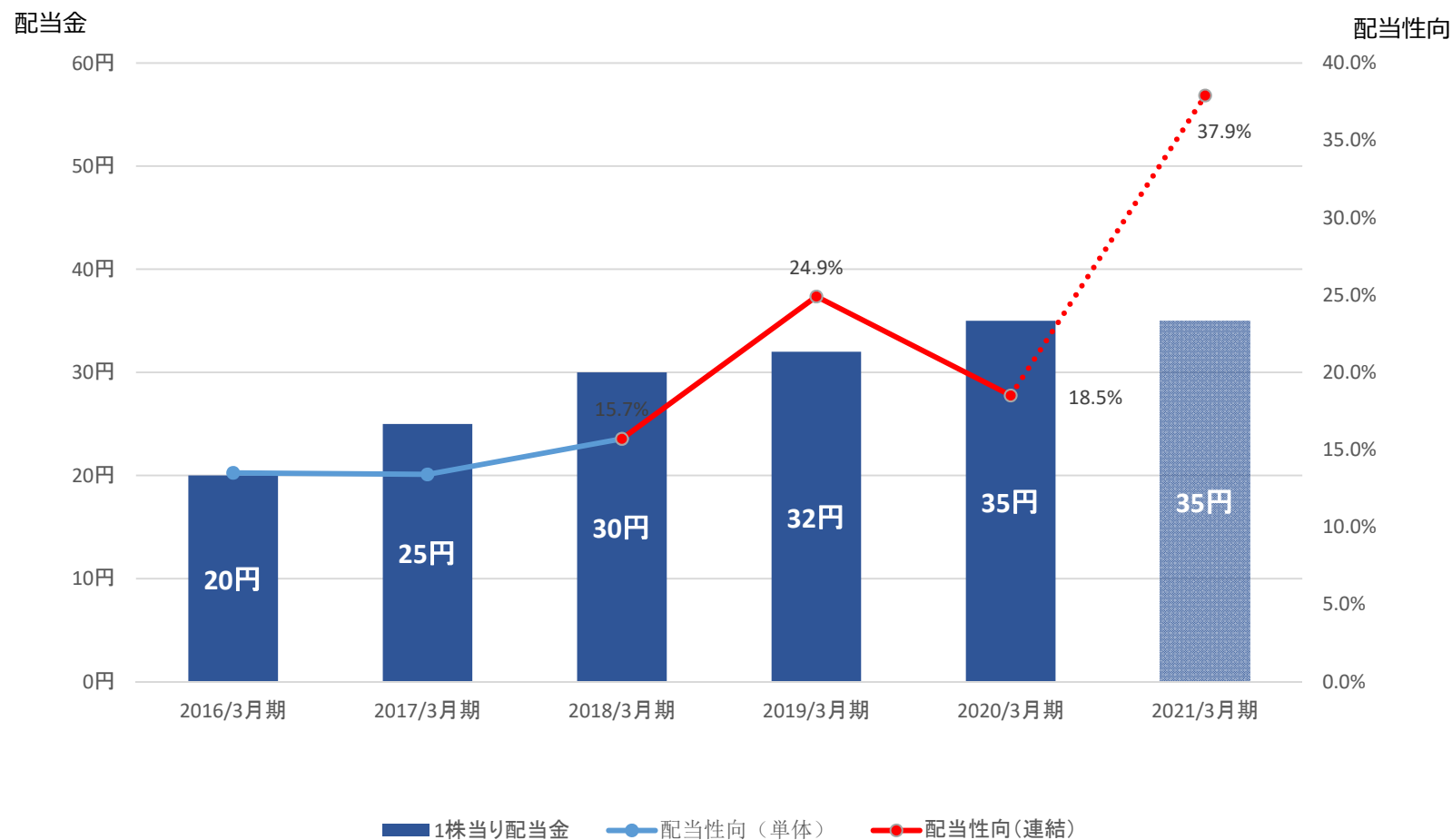
新事業領域



株主還元方針



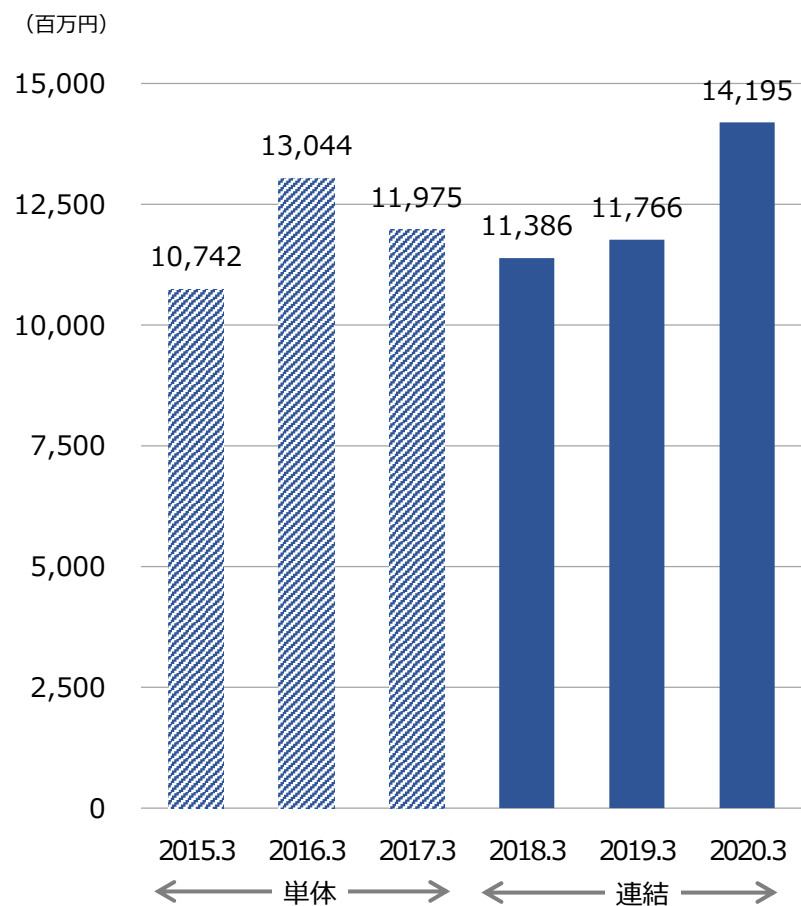
- 引き続き安定的な配当を行う方針
- 2021年3月期予想配当は**35円**



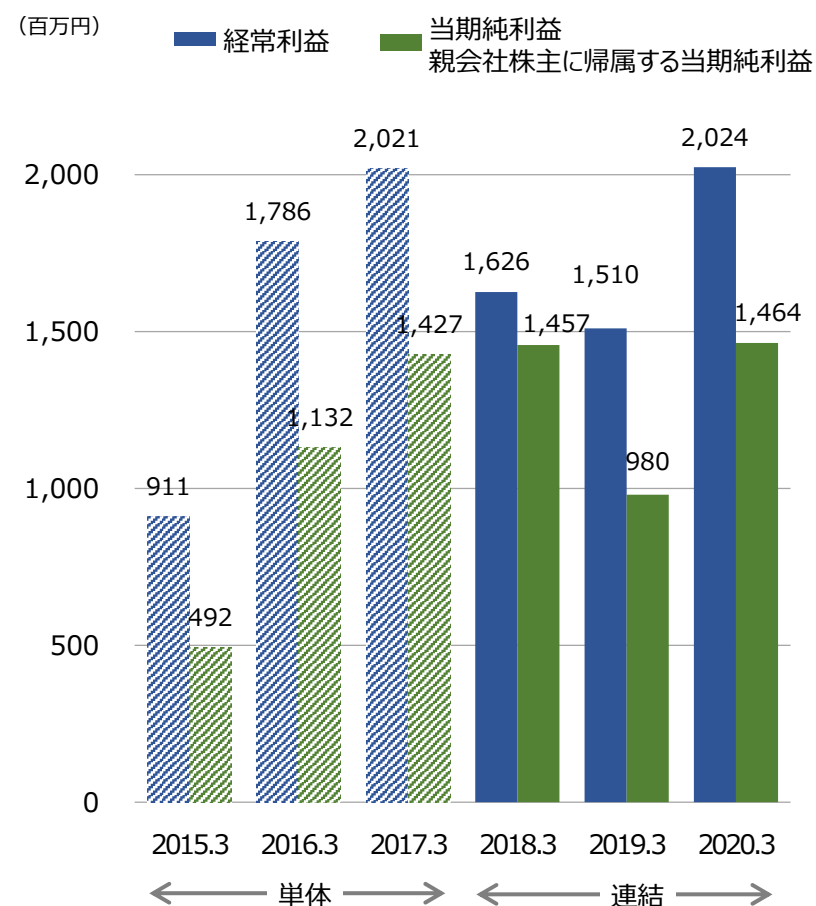
(参考) 業績推移

財務データ ①

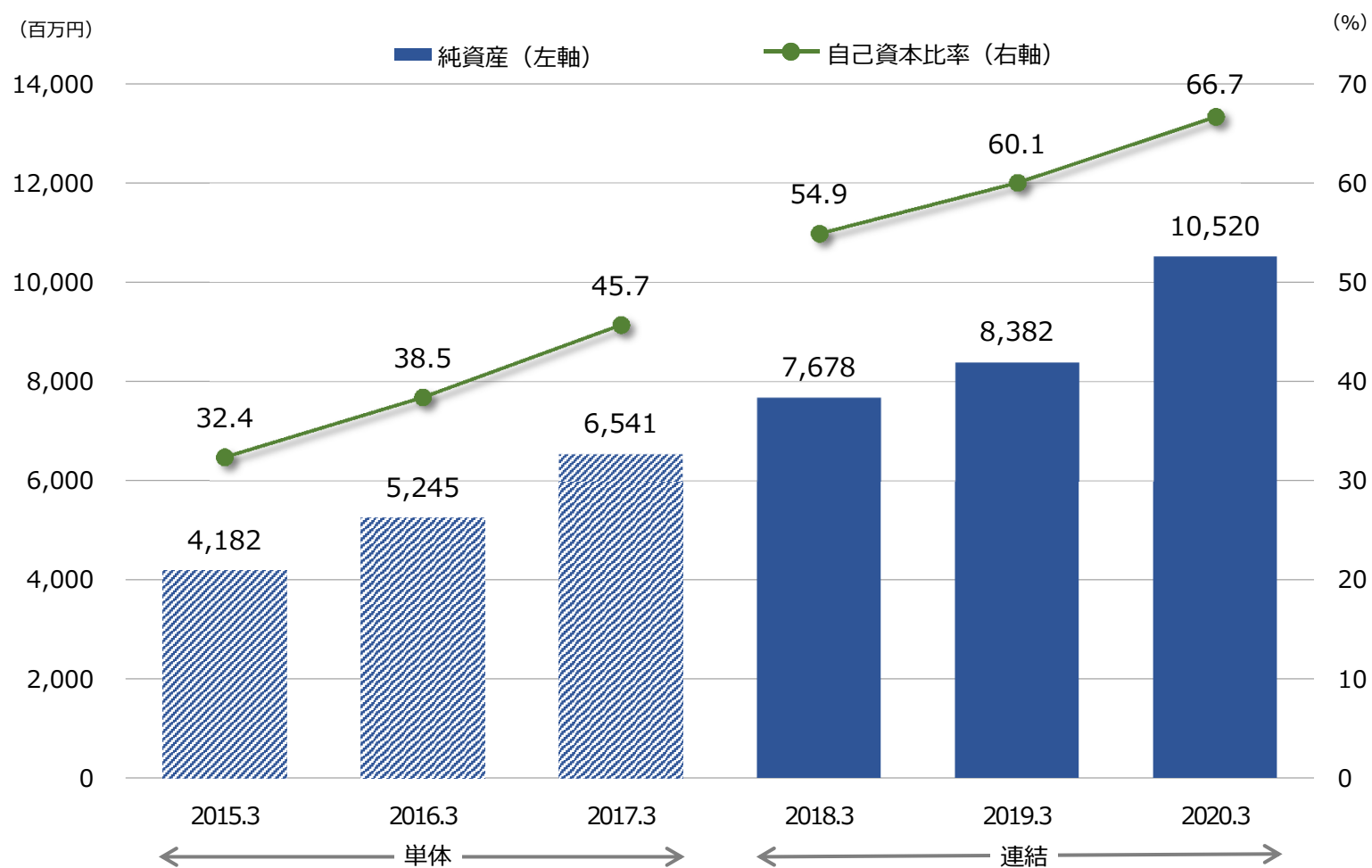
売上高



経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益



純資産/自己資本比率



- お客様や従業員等の健康・安全の確保のための取り組みとして、国などの指導にそって時差通勤やテレワークの推奨等を実施。
- 生産・供給の状況等については、国内2工場（岐阜・北勢）は通常通りに稼働。原材料等の供給は問題なし。
子会社のジェイ アイ シーベトナム（JICV）の工場は、東南アジアにおいて人の移動が厳しく制限され、プラント工事の施工が多くで停止、遅延した案件が発生した等から、稼働を断続的に中断。感染拡大前の大型案件の中止の影響とも相まって、直近2期が営業赤字となる見込みとなったことから、JICVの設備の減損を行うこととなりました。
- 当社事業の動向については、建築関連事業、プラント関連事業（国内）ともに、工事部門については、工事の中断が限定的であったことから、これまでのところ事業への大きな影響はありません。
しかしながら、販売部門の一部の販売先において需要が減少しているところがあることから、その影響の程度につき予断を許さないものと考えております。
海外市場につきましては、案件の停止、遅延が発生しておりますが、人の移動の緩和等の動きもみられることから、今後、状況を見極めながらも、国内外での営業活動を再開、強化してまいります。
- 財務の状況については、資金繰りに特段の影響なし。



問合せ先

日本インシュレーション株式会社

管理本部総務部

TEL : 06-6210-1250

Email : jic-ir@jic-bestork.co.jp

〒542-0081 大阪府中央区南船場1-18-7

【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある点にご留意ください。